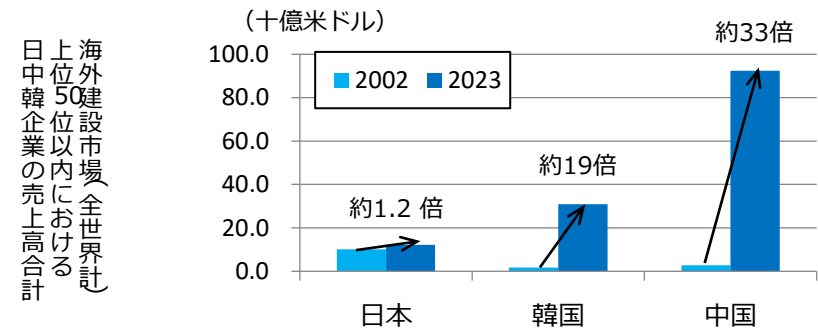


(8) 道路分野におけるインフラシステム輸出

■ 世界のインフラ需要を取り込み、我が国の持続的な経済成長を実現するため、「インフラシステム 海外展開戦略2030 ※1」等を踏まえ、官民一体で海外道路案件の獲得を目指します。

<背景/データ>

- ・アジア地域の交通インフラ（道路、鉄道、港湾、空港）の需要は5,200億米ドル/年（2016-2030年）※2
- ・海外建設市場では、近年急速に中韓企業が受注を伸ばしている ※3



- 「海外インフラ展開法」に基づき、高速道路会社等とともに、我が国事業者の海外展開を推進
- 円借款で建設するトンネルや橋梁等のO&M事業※4の案件獲得に向けた支援・働きかけを実施
- 気候変動への対応等の世界の潮流を捉え、我が国の優れた低炭素技術等（As再生技術等）の展開を支援

【案件獲得に向けた支援の事例】

- ・UNCRD※5と連携した国際ワークショップ
アジア太平洋地域等の道路分野の政府高官に、日本の先進道路技術等を紹介し、質の高い道路インフラへの理解促進
- ・日ASEAN舗装維持管理共同研究(2023-26)
道路舗装の品質向上に向けてASEANの課題整理・分析を行い、再生アスファルトなどの我が国の舗装関連技術等を紹介
- ・長大橋の建設・運営・維持管理の協力覚書署名
世界最長の吊橋となるメッシーナ海峡大橋プロジェクトを念頭に日伊協力関係を強化



国際ワークショップ (2025.3)



日ASEAN舗装専門家会合 (2025.9)

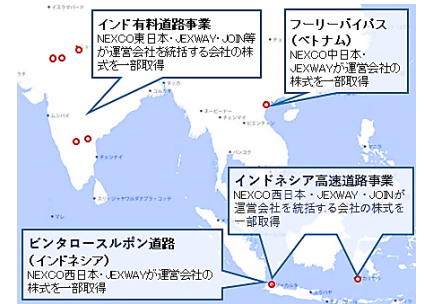


赤外線カメラ等による
コンクリート床版の点検

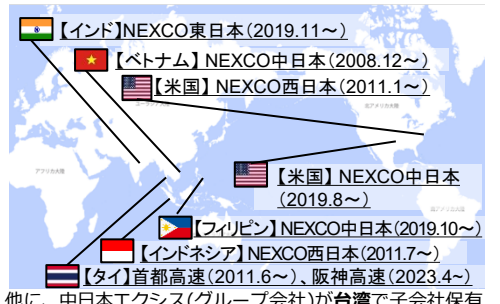
【高速道路会社の海外展開の事例】

- ・構造物非破壊点検事業（米国）
NEXCO西日本の米国現地法人は、赤外線等の非破壊点検技術を活用した道路構造物の点検業務を継続的に受注

【道路PPP事業の主な参画実績】



【高速道路会社の海外拠点】



※1：2024年12月 第58回経協インフラ戦略会議決定
 ※2：Asian Development Bank Meeting Asia's Infrastructure Needs
 ※3：ENR's The Top International Contractors (2003,2024年)
 ENR社のアンケートにより算出された世界シェア上位企業の受注実績から国別に集計
 ※4：O&M：Operation & Maintenance（運営・維持管理）
 ※5：UNCRD：United Nations Centre for Regional Development（国際連合地域開発センター）